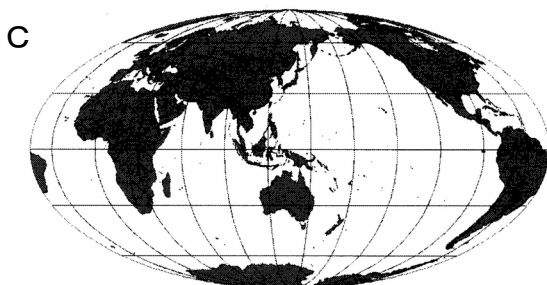
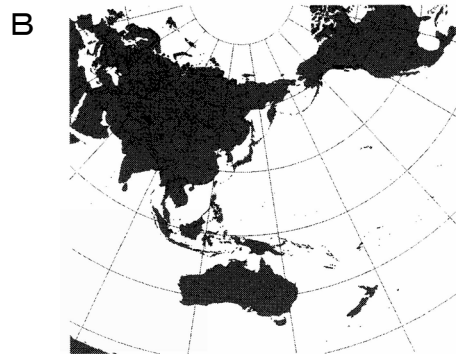
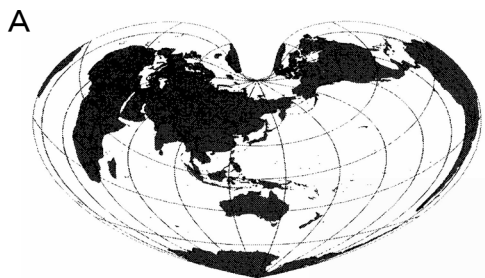


〈H20-am-6-A：問題〉

次の文は、地図投影法について説明したものである。ア～ウの説明文とその地図投影法で描かれた地図の組合せとして最も適当なものはどれか。次のページの中から選べ。

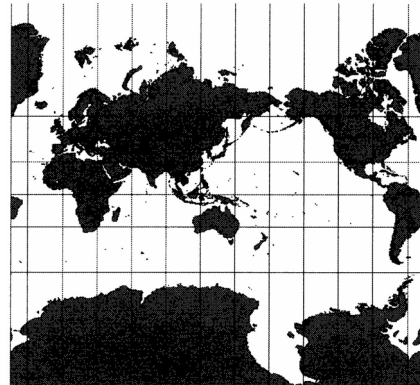
- ア. 正軸円錐図法は、円錐を地球に接し又は円錐と地球を交わらせて投影するものである。緯線はどちらかの極を中心とする同心円として表され、経線はその極から放射状に延びる直線として表される。
- イ. 正距方位図法は、地図上で原点から任意の点までの距離と方位角が正しく表されるが、原点から離れるにつれて陸の形がひずむ。
- ウ. メルカトル図法は、円筒図法の一つで、緯線と経線は常に赤道に対して水平と垂直の線で表される。任意の2点間を結ぶ直線と経線とのなす角度は正確に表されるが、高緯度になるほど面積や距離のひずみは大きくなる。



D



E



- | | ア | イ | ウ |
|----|---|---|---|
| 1. | A | B | D |
| 2. | A | D | E |
| 3. | B | C | D |
| 4. | B | C | E |
| 5. | C | D | E |

〈H20-am-6-B : 問題〉

次の文は、地理情報システム (GIS) について述べたものである。[ア] ～ [オ] に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

地理情報システム (GIS) は、位置に関する情報を持ったデータ (空間データ) を管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析を可能とする情報システムである。

空間データの [ア] を確保するためには、空間データの設計方法や品質の考え方など、共通に守るべきルールが必要であり、そのルールを規定しているのが [イ] である。これによって、空間データの相互利用が促進され、空間データ整備の [ウ] が期待できる。

[エ] には、空間データの所在、内容、利用条件が記述され、[オ] で検索することができる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	互換性	地理情報標準	重複の排除	メタデータ	クリアリングハウス
2.	精度	地理情報標準	重複の排除	クリアリングハウス	メタデータ
3.	互換性	地理情報システム	精度の向上	メタデータ	クリアリングハウス
4.	精度	数値地図データ	重複の排除	クリアリングハウス	メタデータ
5.	互換性	数値地図データ	精度の向上	クリアリングハウス	メタデータ

〈H20-am-6-C：問題〉

図 6－1 は、国土地理院発行の 1/25,000 地形図(原寸大、一部を改変)である。A 地点の山頂(標高 685m)に高さ 5 m の旗を立てたとき、B～E 地点から A 地点の旗を視通できるものの組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

ただし、建物や樹木など地形以外の要因による視通への影響はないものとする。また、B～E 地点の各視点の標高は地表面とする。



図 6－1

1. B 地点 D 地点
2. B 地点 E 地点
3. B 地点 D 地点 E 地点
4. B 地点 C 地点 D 地点 E 地点
5. D 地点 E 地点

〈H20-am-6-D : 問題〉

次の文は、空間データ製品仕様書について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 空間データ製品仕様書は、空間データを作成する際、その空間データ(製品)に要求される種々の条件を要求仕様書としてまとめたものである。
2. 空間データ製品仕様書には、空間データの内容、構造、参照系、データ品質などが記述されている。
3. 空間データ製品仕様書に記述する標準的な項目は、国際標準化機構(ISO)の規格として定められている。
4. 空間データ製品仕様書は、空間データを作成するときにはデータの設計書として利用できるが、空間データを使用するときのデータ説明書としては利用できない。
5. 空間データ製品仕様書を新たに作成する場合には、既存の類似の空間データ製品仕様書を参考にして作成することができる。